

## 消費動向指数（CTI）の概要

消費動向指数(CTI: Consumption Trend Index)は、家計調査の結果を補完し、消費全般の動向を捉える分析用のデータとして総務省統計局が開発中の参考指標である。

消費動向指数は、次の2つの指標体系で構成されている。

### ①世帯消費動向指数（CTIミクロ）

世帯の消費支出の平均額の推移を示す指数である。世帯における当月の消費支出の平均額について基準年(2015年)の消費支出の平均月額を100とする指数で表している。費目別の値は当該指数値の内訳となっている。毎月の家計調査の結果に、家計消費状況調査及び家計消費単身モニター調査の結果を合成した支出金額によって作成している。

詳しくは[統計局 HP](#)の「世帯消費動向指数(CTIミクロ)の推定方法」を参照。

なお、2018年1月の家計調査における調査方法変更の影響による変動を調整して作成している<sup>注</sup>。

注 変動の調整方法については、統計局 HP の[「世帯消費動向指数の遡及改定について」](#)(PDF:241KB)を参照。

### ※分布調整値について

総世帯及び二人以上の世帯の消費支出の推移には、世帯構造(年齢や人数など)の変化の影響が含まれる。分布調整値は、世帯主の年齢階級の分布と世帯人員の分布を基準年で固定して算出した世帯消費動向指数で、これらの変化の影響を除去した消費動向を示す。

### ②総消費動向指数（CTIマクロ）

我が国における世帯全体の消費支出総額(GDP 統計の家計最終消費支出に相当)の推移を推測する指数である。当月の消費支出総額について基準年(2015年)の消費支出総額の平均月額を100とする指数で表している。毎月の世帯消費動向指数(総務省統計局)、サービス産業動向調査結果(総務省統計局)、商業動態統計調査結果(経済産業省)、第3次産業活動指数(経済産業省)及び鉱工業生産指数(経済産業省)の動向から、季節調整済みの家計最終消費支出に相当する消費支出総額の推移を時系列回帰モデルによって推測している。世帯消費動向指数と同じく消費の動向を示す指数だが、推計対象が異なり、世帯数の増減の影響が含まれ得るため、世帯消費動向指数とは異なる動きを示す。

詳しくは[統計局 HP](#)の「総消費動向指数(CTIマクロ)の推定方法」を参照。

表 総消費動向指数の推計に使用する説明変数

名目値の説明変数	世帯消費動向指数(名目)、商業動態統計調査結果(小売業計)、サービス産業動向調査結果(サービス産業計)
実質値の説明変数	世帯消費動向指数(実質)、第3次産業活動指数(広義対個人サービス)、鉱工業生産指数(消費財全計)